

タカハマタイムズ創刊号

タカハマタイムズではPTA活動の最新ニュースをお届けします！

高浜小学校の児童の安心と安全を守る二つのシステムが整いました。



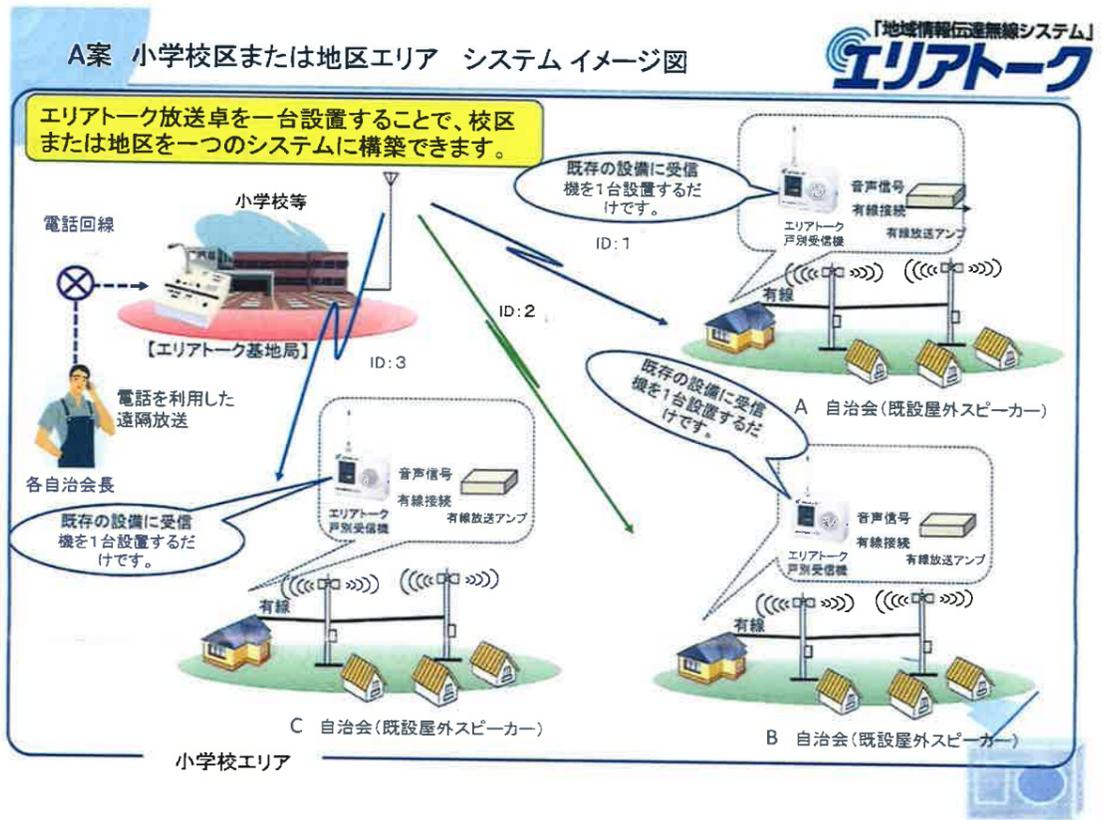
学校防犯システム 『ツイタもん』

『ツイタもん』とはICタグを持った児童が学校に“ツイタ”ことを「校門通過時刻」と防犯カメラの「映像」にて記録する無料のサービスです。

全国的に小学校では、インターフォンの設置、見守りボランティアの常駐など、不法侵入対策はとられています。ところが児童が巻き込まれる事件事故や不審者情報が後を絶ちません。実際には登下校時の場面こそ一番危険にさらされているという事実があります。

ツイタもんは、万が一不測の事態が発生した際、早期解決を図るために、いかに迅速な初期対応と的確な初動捜査に活用できるかをテーマに開発されたシステムです。

新年早々に校区内での動物の不審死が続いたことをきっかけに、本校では姫路市の公立学校で初めてこのシステムを導入しました。現在429名の児童がICタグを保有し、保有率は42%となっています。また高浜小学校での導入をきっかけに市内の複数の小学校から問い合わせがあり、その導入が相次いでいます。PTA本部では、来年度入学する全ての児童がICタグを携帯できるように方策を考えております。ICタグは無料でお持ちいただけます。未携帯の児童の保護者の皆様も、保有にむけてぜひご検討ください。



出るだけ防犯3時4時♪ そのきっかけに！

みなさまは最近こんなTVCMをご覧になったことがあるでしょうか？

♪散歩をするなら3時4時♪掃除をするなら3時4時♪買い物するなら3時4時♪だって下校するのが3時4時♪
<ナレーション>おうち周りの家事やお出かけは、ぜひ3時から4時のあいだに。みなさんの日常生活が子どもたちを守る「出るだけ防犯」になります。♪出るだけ防犯3時4時♪

これはACジャパンが子どもの安全をテーマに「誰もが、それぞれのやり方で、自由に参加できる見守り活動」を提案するものとなっています。左記の事件をうけて児童の下校を校区の皆様へ放送でお伝えする策がないか、長田連自治会長に相談してしばらくすると「こんなあるで！」とお知らせいただいたのが「エリアトーク」でした。これは図にあるように親機を高浜公民館に設置し、有線放送アンプを各町放送設備に設置することで、校区一斉放送が可能になるシステムです。長田会長には二学期中に運用を開始したいとお願いしたところ、短期間に連自治会定例会において説明と承認を取ってくださり、11月12日の運用開始ができました。また設置にあたり補助金申請にも奔走いただき、連自治会・各町自治会・各種団体から資金援助を受け、PTAとしても廃品回収の収益金から50万円を支出させていただきましたことを報告させていただきます。この度のエリアトークの設置・運用が、こんなにも短期間にできましたことは、高浜地区の未来を担う子どもたちの安心と安全を地域の皆様が願ってくださっているからだと思っております。紙面では伝えることができませんが、高浜小学校児童の保護者を代表し、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。そして最後にもう一つお願いがあります。地域のみなさま児童の下校を知らせる放送が流れましたら、「出るだけ防犯」にぜひご協力ください。



この度のエリアトークの設置・運用が、こんなにも短期間にできましたことは、高浜地区の未来を担う子どもたちの安心と安全を地域の皆様が願ってくださっているからだと思っております。紙面では伝えることができませんが、高浜小学校児童の保護者を代表し、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。そして最後にもう一つお願いがあります。地域のみなさま児童の下校を知らせる放送が流れましたら、「出るだけ防犯」にぜひご協力ください。



教頭先生の机に設置している専用のパソコン

こんな出来事がありました。

放課後、保護者より子どもの帰りが遅いとの問い合わせがありました。幸いにもICタグを保有している児童でしたので、この専用パソコンで児童の名前を検索して退出した門と時間を確認し、早期解決に至りました。

さらに有料ではありますが、メール通知サービスを利用するとお子様がどちらの門から何時何分に入出したかを即時に登録したアドレスに向けて通知します。(最大登録件数6件)これがあれば何時ごろに自宅に帰ってくるかの予測が容易にできます。

あってはならないことですが、児童が帰ってこないと連絡をうけると学校の初期動作は、校内にいるのかいないのかを先生方が手分けして確認します。

ICタグをもっていれば児童の名前を検索すると門をくぐった時間を確認するとともに、防犯カメラの映像でその時の状況がわかります。何度も言います。ICタグは6年間無料で貸与を受けることができます。ぜひお子様のランドセルに入れてあげてください。



高浜連合自治会定例会 (R1.8.23)

エリアトーク設置に向けて各町自治会長への説明会。

メーカー代理店様からシステムの概況を。工事業者の方から今後の工事スケジュールと内容をお知らせいただきました。



令和元年度高浜校区敬老会 (R1.9.15)

敬老会参加者へ下校児童の見守りのお願いをしました。

ハード面の整備はできましたが、重要なのはソフト面の充足であるということをお話しさせていただきました。「下校を知らせる放送が流れましたら、ちょっと外に出て児童の下校を見守ってください」とお願いすると、多くの参加者の皆様が趣旨を理解し、見守り活動への協力を了承してくださいました。



録音作業 (R1.10.8)

地域の皆様への呼びかけは、家氏先生のお声です。

工事が進む中、高浜小学校の放送室では、家氏先生にお願いして3つのパターンの文章を録音していただきました。一つは下校時間の早い低学年バージョン。二つ目は高学年バージョン。三つ目は夏休みに各町が放送している18時の帰宅を促すバージョンです。

三つ目は来年度の各町子ども会役員の皆様と相談しながら、要望があれば放送する予定としています。



第1回試験放送 (R1.10.29)

写真のとおり頭を抱える試験放送でした。

「ツイタもん」と同様、姫路市では初めての導入となる「エリアトーク」ですが、タイマーによる下校放送の導入事例もなく皆で頭を抱えることになりました。

まずは第1回の試験放送です。親機のスイッチを入れると親機のチャイムと同時に各町の放送開始のチャイムが鳴りだします。そのチャイム音は各町バラバラでチャイムの長さもバラバラです。本日の課題は、エリアトークでの一斉放送では各町のチャイム音を出さない設定が必要であることがわかりました。それとチャイムとかぶる、家氏先生の録音音声に無音時間を入れてから録音をしなければならないということで再録音の必要なことがわかりました。

さて第2回の試験放送ですが、今回は各町子ども会会長に「チャイム音量」「声の音量」等について確認をしていただくことにしました。

長田会長は取扱説明書をパラパラとそしてメーカーに確認。また各町自治会長への電話対応に。田淵教頭先生は、理論的に仕組みを分析し、問題個所の特定に努められました。

試験の結果から各町放送設備の微調整を入れることと、家氏先生の録音音声をもう少しゆっくりとお話いただくことで終了しました。

これから学期中土日祝を外して録音放送が児童の下校前に流れます。スピーカー近くにお住まいの方にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



第2回試験放送 (R1.11.6)